

ウィンワークス株式会社、勤怠管理システムに容易に連携する機能を加え、 勤務シフト自動作成システム WINWORKS One の新バージョンを販売開始

～勤怠管理システムのシフト制限規則に合わせた勤務シフト自動作成～

効率的な勤務計画の作成を通じて企業の経営効率向上を支援するウィンワークス株式会社（東京都千代田区、代表取締役：渡辺邦昭、以下ウィンワークス）は、勤務シフトを自動作成する WINWORKS One に勤怠システムとの連携を容易にする機能を加えた新バージョン（WINWORKS One 5.7）を本日より販売開始いたします。現在 WINWORKS One をご契約中のお客様へはご要望に応じてバージョンアップを実施いたします。

業務の繁閑（小売店における来店客数の変動、コールセンターにおける着信数の変動など）に対応した勤務計画を立てることが、サービス業の現場における生産性を向上させるために重要です。ウィンワークスはサービススタッフの勤務を業務の繁閑に整合させ、人時生産性を高めるためのソリューションを提供してきました。勤務シフトを自動作成する機能を有する WINWORKS One は多くのお客様に活用いただき効果を上げています。

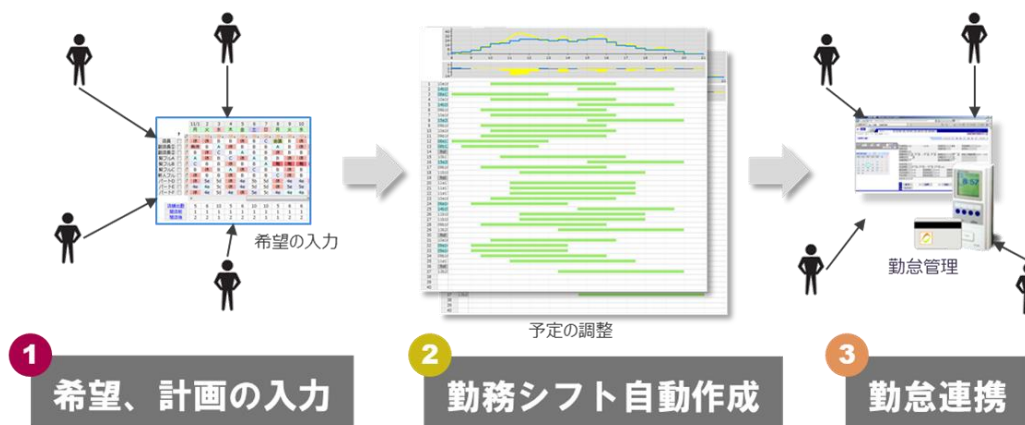


図 1 システム連携の概要

WINWORKS One で作成した勤務シフトは勤怠システムに入力され、日々の勤怠管理実施時に予定として使われてきました。多様な雇用契約形態のスタッフが所属する規模の大きな企業では、契約形態ごとに勤怠管理が管理するシフトを分けて使用しているケースが多くあります。このようなケースでは勤怠システムが管理しているシフト適用規則に合わせたシフト自動作成が必要となります。

－新機能の概要－

従来、スタッフに割当てするシフトは、スタッフの勤務区分定義に従ってその範囲のシフトを用いてシフトを自動作成する機能を有していました。一方、大規模に WINWORKS One を展開している一部のお客様では、勤怠システムと連携させるために、WINWORKS One で作成したシフトデータをお客様固有のシフト規則に適合させるためカスタムプログラムを作成していました。

今回の機能追加は、お客様固有のシフト規則を WINWORKS One 上で実現し、マニュアル操作によるシフト変更時でもシフト規則に適合しているかどうかをリアルタイムにチェックするものです。この機能を用いることにより、WINWORKS One で作成、編集した勤務シフトを勤怠システムにエラーフリーで連携させることができ、お客様がカスタムプログラムを作成する手間を省きます。

－新たに加えた規則－

以下のシフト適用規則で勤務シフトをリアルタイムにチェックし、規則違反がある場合、画面にエラーを表示します。

1. 勤務区分ごとに適用シフトを制限

勤務区分ごとに適用可能なシフトを定義します。スタッフは属する勤務区分に許されたシフト以外は適用できないため、マニュアル操作による編集時に誤って適用外のシフトを割当てることがなくなります。

勤務区分名 (範囲)	正社員A		
勤務表作成対象	<input checked="" type="checkbox"/>		
予算管理対象	<input type="checkbox"/>		
執行管理対象	<input type="checkbox"/>		
例外勤務区分	<input type="checkbox"/>		
使用可能シフト	<input checked="" type="checkbox"/> 7時5分 <input checked="" type="checkbox"/> 不在 <input checked="" type="checkbox"/> 公休 <input checked="" type="checkbox"/> 法休		
希望入力使用シフト名	<input checked="" type="checkbox"/> 公休		
希望入力午前休憩シフト名	選択なし		
希望入力午後休憩シフト名	選択なし		
月途中入社使用可能シフト	選択なし		
月間勤務日数、時間数計算方式	月別日数		
月途中の日数計算方式	四捨五入		
週間勤務日数制限	<input checked="" type="checkbox"/>		
週間勤務日数	5		
週間勤務時間数制限	<input checked="" type="checkbox"/>		
週間勤務時間数	40:00		
法定休日制限	<input checked="" type="checkbox"/>		
法定休日	4日で4日		

項目	追加機能
使用可能シフト	勤務区分の属するスタッフが使用できるシフトをこの範囲に制限する
月途中退社時使用可能シフト名	同上
勤務日数、時間数計算方式	稼働カレンダー、月別日数、月別日数+月別時間数の3方式より選択
月途中の日数計算	四捨五入、切り捨て、切り上げの3方式より選択
週間勤務日数制限 ※1	ONの場合は、日数上限値を入力
週間勤務時間数制限 ※1	ONの場合は、時間数上限値を入力
法定休日数 (週) ※1	ONの場合は、1週で1日、または4週で4日を選択

※1 起点となる曜日 (勤怠管理開始曜日) は、システム管理者側で設定が必要です

図 2 設定できる情報

2. 月途中入退社時の適用シフト

月途中で入退社する場合、勤怠管理および給与計算上、特定のシフトのみに制限している場合があります。このような運用をしているお客様向けに、月途中入退社に該当する場合、適用シフトをさらに制限することができます。

3. 週単位の勤務日数、時間数制限

勤務区分ごとに、週ごとの勤務日数、勤務時間数に上限を設定することができます。

4. 法定休日規則

法定休日は、週に必ず1日、または4週に4日のいずれかの規則に沿ってチェックします。



図 3 シフト選択メニューは許可されている範囲のシフトを表示

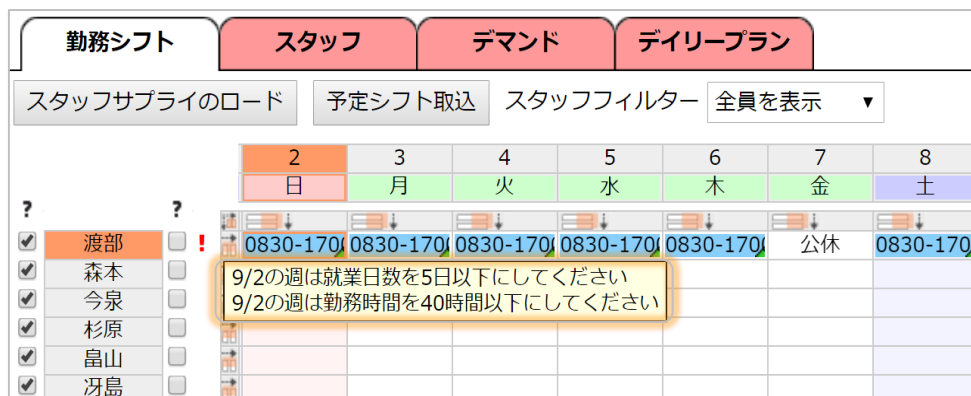


図 4 エラー内容をユーザーにフィードバック



ウィンワークスは業務の変動に最適化した勤務シフトを作成するだけでなく、勤怠管理への連携も含めて効率化を図り現場の作業をシンプルにすることで、これからも現場をサポートしていきます。

ウィンワークス株式会社について

ウィンワークスは、サービス・オペレーション・マネジメント (SOM*) のコンセプトのもと、時間帯毎および日毎に大きく変動するサービス要求への対応に着眼し、最適な人的資源の配分を行い企業の経営効率を高め、グローバル競争を勝ち抜く経営変革の実現を支援するソフトウェア・ソリューションを提供しています。ウィンワークスの先端的なテクノロジーと、ソリューションを活用し経営効率を改善するノウハウは、特にサービスの質を重視するビジネスのお客様から大変高い評価を頂いております。

*SOM とはサービス・サイエンスの理論に基づき現場でのサービスの生産性向上と品質の改善を事業の目標達成に統合する、新しい経営管理の手法です。

詳しくは <http://www.win-works.com> をご覧ください。

<本件に関するお問い合わせ先>
ウィンワークス株式会社 森
電話： 03-3503-5262
Eメール：pr@win-works.com